

一般財団法人ひょうごコミュニティ財団
公益財団法人ひょうごコミュニティ財団

2013 年度 事業報告書

(2013 年 7 月 1 日～2014 年 6 月 30 日)

◇2013 年 7 月 1 日～2013 年 7 月 7 日

一般財団法人ひょうごコミュニティ財団 第 2 期 (通算第 2 期)

◇2013 年 7 月 8 日～2014 年 6 月 30 日

公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 第 1 期 (通算第 3 期)

目 次

1. 概況	・ ・ ・ ・ ・ 2
2. 事業	・ ・ ・ ・ ・ 3
(1) 設立募金の実施	
(2) 説明会の開催	
(3) 寄付啓発事業	
(4) 設立記念助成事業	
(5) 共感寄付事業	
(6) 神戸文化支援基金事務局業務の受託等	
(7) その他の事業	
3. 組織	・ ・ ・ ・ ・ 11
(1) 公益認定の申請	
(2) 支援者の拡大	
(3) 役員等	
(4) 会議	
4. 決算報告	・ ・ ・ ・ ・ 13
< 4-1 > 一般財団法人ひょうごコミュニティ財団第2期（通算第2期）	
(1) 正味財産増減計算書	
(2) 貸借対照表	
(3) 財産目録	
(4) 監査報告	
< 4-2 > 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団第1期（通算第3期）	
(1) 正味財産増減計算書	
(2) 貸借対照表	
(3) 財産目録	
(4) 監査報告	

以下、「2. 事業」「3. 組織」については、一般財団法人と公益財団法人の時期を通じて記述し、「4. 決算報告」については、（通算）第2期、第3期に区分してご報告します。

1. 概況

年度当初の7月8日に兵庫県知事より公益認定を受け、公益財団法人となった。

年度初めより「寄付啓発事業」を実施（神戸市委託）、一般市民向けの寄付啓発の広報事業（パンフレットの制作）、企業向けの社会貢献・CSRに関する意識調査やCSR担当者の交流会、NPO向けのファンドレイジング講座などを実施した。（事業（3））

また、ひょうごボランティア基金助成事業などを活用して県内各地に出向き、地域の企業やNPO、行政等と交流を深めた。本年度は主に淡路、但馬、西播磨地域で実施した。（事業（2））

これらにより、県内各地の企業やNPOに当財団の認知を上げるとともに企業の社会的取り組みに関するニーズを知り、またNPOが取り組む多様な地域課題についてもより深く知ることができた。

さらに当財団初の助成事業として、認定NPO法人 市民活動センター神戸から引き継いだ「共感寄付」事業を2014年4月から準備し、「新第1期」としてスタートさせた。従来の方法に改善を加えて「伴走コース」「シンプルコース」の2コース制で公募、年度末の6月に公募を締め切り、計23団体の応募を得た（主に外部委員からなる選考委員会により、年度が替わったあとの7月に選考を実施、計14団体を採択した）。（事業（5））

また、公益財団法人神戸文化支援基金の事務局業務を市民活動センター神戸から引き継ぎ、受託した。（事業（6））

一方、ファンドレイジング関連では、設立募金を実施したが、目標の700万円には届かず、約358万円（176件）にとどまった（事業（1））。賛助会員制度も準備が進まず、次年度に先送りとなった。

次年度への準備として、1）テーマ型の内部基金設置、2）寄付つき商品の提案準備、3）新型募金箱の制作、設置準備、4）（継続）県内各地の地域課題調査の準備（トヨタ財団助成事業）、などを今年度中に進めた。

全体として、多くの人々に会いひょうごコミュニティ財団を知っていただき、協力をお願いすることができたが、その具体化はまだ緒に就いたばかりであり、より一層精力的にファンドレイズや共同事業の提案、開発に力を入れる必要がある。

2. 事業

(1) 設立募金の実施

期間中に「700万円」の目標を掲げて募金活動を実施し、目標未達成のために期間を延期したが(2013年8月末→2013年12月)、目標は未達となった。

目標額	700万円
実績額	3,583,960円(176件)

(2) 説明会の開催

時期：2013年7月1日～2014年3月31日

内容：

① 事前調査

3地域（淡路、但馬、西播磨）の15団体のNPO法人、および14の企業・行政・商工団体・マスコミ・学校等を個別訪問、5回のネットワーク会議や交流会に参加し、多くのNPO法人、地域活動団体に財団を知っていただくことができた。

各地域の行政、マスコミ、地元企業、学校ともネットワークがつくられつつあり、各地域の団体との地域課題解決に向けたマッチングも可能になりつつあります。

② 説明会、対話集会の実施

行政・企業・NPOなどに所属する地域住民と都市部住民が集まって話し合い、地域住民は地域課題と課題解決に向けた活動の共有、都市部住民に対しては地域課題への関心を惹き起こし、その後の寄付などの課題解決へ向けた活動につながることを目的として開催した。（ひょうごボランティア基金助成事業）

対話集会開催は次の通り。

・平成26年3月6日

西播磨NPO&CSRネットワーク交流会 開催

西播磨で活動する行政・NPO、地元企業のヒガシマル醤油株式会社・神戸市内に本社を置く株式会社ノーリツのCSR担当者、地元の県立龍野北高校教頭などを招いて交流会（36名参加）を実施した。

・同年3月12日

第3回但馬NPOネットワーク会議 開催 ※NPO法人プラッツと共催で実施

当財団との共催として、但馬地域の行政、NPO、行政市民活動団体と神戸大学附属中等教育学校指導部長、関西大学社会学部教授が参加（合計19名出席）して都市部からの意見をお願いした。

・同年3月19日

第2回「洲本狸千年まつりプロジェクト」ネットワークミーティング

※NPO法人淡路島アートセンターとの共催で実施

洲本市に住んでいたとされる芝居好きな狸「しばえもん」を題材に、地域おこししようというプロジェクトで、これから千年も続けていこうという趣旨。

神戸、大阪、新潟からのNPOなどや地元の地域おこし協力隊、アーティスト、NPO、神社の宮司など18名が参加した。

(3) 寄付啓発事業

寄付文化啓発のために神戸市が実施する委託事業を受け、実施した。

時期：2013年7月1日～2014年3月31日

内容：

神戸市民が、市内の団体に寄付しやすくする環境を整え、市民や企業の寄付意識を高め、寄付文化の醸成につなげるのが今回の目的であり、以下の項目について実施した。

① パンフレット作成・配布等による制度の広報

一般の市民に、寄付によって「社会をよくする」ことを呼びかけるための寄付啓発パンフレット「KOBE きふガイド」(A4判6頁)を20,000部作成し市民ファンド、市内主要NPO、寄付者・支援者(市民)、神戸市などに配布した。

② NPOのファンドレイザー養成講座の開催

寄付募集のメリットをNPOスタッフに理解してもらうこと、初めて寄付募集を行う心理的負担を緩和することを目的に基礎講座として寄付集め「はじめの一步」講を3回、実践講座として1回開催した。



③ 市内企業の寄付意識に関する調査

企業の社会貢献及び寄付実態、寄付窓口などについて知り、財団を知ってもらう為に調査を実施した。

インタビュー企業数は20社以上の予定であったが、50社以上に調査依頼申し込み、40社にインタビュー実施することができた。

今後も企業に、ソーシャルな提案(基金や寄付つき商品や募金などを促す)を企画し提示することで、寄付啓発していきたい。

④ 市内企業との交流会の開催

2014年1月30日(木)に企業の経営者、CSR担当者13名が参加して企業交流会を実施した。今後も定期的に企業の方々との交流会や勉強会を実施し、企業同士が課題について情報共有し、企業の持つ課題解決のヒントや問題解決方法の提案を提供していきたい。

(4) 設立記念助成事業

実施しなかった。

(5) 共感寄付事業

時期：2014年4月～2014年6月30日（※継続中）

内容：

市民活動センター神戸による旧共感寄付事業の終了（3月）、成果報告会（5月）と相前後して、当財団による新共感寄付事業をスタートさせた。プログラムを改善し、募集にも時間をかけて年度末から新年度にかけて参加団体の選考を行った。

①プログラムの改善

旧共感寄付事業の経験から、いくつかの改善を施した。

- ・2コースに種類分け

応募団体（参加団体）に基本的にはファンドレイズを委ねる「シンプルコース」と、当財団がファンドレイズの戦略づくりからかなりコミットする「伴走コース」の2種類に分けて募集した。

- ・フレンドレイザーの募集

ファンドレイズをサポートするボランティア、「フレンドレイザー」を一般から募集し、伴走コース支援の強化を図った（実際の募集は新年度）。

②参加団体向け説明会の開催

参加団体に対する説明会を3箇所で開催したほか、事務所において個別の相談に応じた。

4月17日（木）18:30～20:30 神戸市勤労会館（三宮）405号室

4月23日（木）18:30～20:30 東播磨生活創造センター「かこむ」

5月13日（火）18:30～20:30 宝塚市男女共同参画センター 学習交流室1A

計41団体（54名）の参加を得た。

開催協力：(特活)シミズシーズ、(特活)宝塚NPOセンター、(特活)ひと・まち・あーと

③応募状況

応募締切：2014年6月9日（消印有効）

応募数：23団体（伴走コース9団体、シンプルコース14団体）

④選考委員会

下記の皆さまに選考委員を委嘱した。（敬称略、○＝選考委員長）

青木伸也 （株）日本政策金融公庫 神戸創業支援センター所長

勝沼直子 （株）神戸新聞社 論説委員

小嶋新 （特活）しゃらく 理事、生きがいしごとサポートセンター神戸西センター長

○田中茂 （特活）シミズシーズ 理事長

水野雄二 公益財団法人神戸YMCA 総主事

柳瀬厚子 兵庫県企画県民部 県民生活局長

山添令子 生活協同組合コープこうべ 常勤理事

(参考) 7月以降の展開

○応募書類の確認と現地ヒアリング

7月、応募団体の約半数に現地ヒアリングを実施。

○選考委員会

7月25日に選考委員会を開催、14団体（伴走コース4団体、シンプルコース10団体）を採択。

○8～10月

ファンドレイズの準備期間；戦略立案、パンフレット制作

○11月～2015年2月末

ファンドレイズ期間

○2015年3月～5月

報告期間

○2015年1月～12月末

寄付金を使用して事業を実施

(6) 神戸文化支援基金事務局業務の受託等

2013年7月より、公益財団法人神戸文化支援基金（愛称・こぶし基金）の事務局を受託した（それまで市民活動センター神戸が受託していたものを引き継いだ）。理事会・評議員会、事業計画・予算および報告・決算作成など組織運営面の事務業務のほか、助成に関する諸手続きなど事業にかかる事務業務を担当した。

本基金の主な事業は、

- ・兵庫県下で発表される芸術文化活動への助成（通常助成）
（2013年11月～2014年1月募集分；10件165万円）
- ・東日本大震災の被災地を励ます芸術文化活動への助成実施
- ・Kobe Art Award（KAA）
・・・兵庫県下で優れた芸術文化活動を継続している団体または個人への表彰事業
（2013年7～8月；大賞50万円、優秀賞30万円、地域賞10万円×2件）

である。また、今年度は特別に

- ・追加助成（2014年3月～4月募集分7件115万円）
- ・定款変更に伴う諸手続き
- ・評議員就任および退任に伴う諸手続き

などがあった。

（詳細）本基金ホームページ：<http://kobushi-kikin.com>

(7) その他の事業

助成機関の専門職としての助成担当者（プログラムオフィサー）のスキルアップのために、（公財）助成財団センター等との共催で、主に県内の助成財団担当者を対象に「助成団体担当者のための実務セミナー」を実施した。財団としての助成事業についてスタッフが学習するとともに、近畿各地から参加した他の助成団体との交流の場となった。

日 時 2013年11月7日（木）14:00~16:30

場 所 神戸市中央区 こうべまちづくり会館

テーマ 「効果的な助成事業を行うために」

講 師 渡辺元氏（（公財）助成財団センター プログラム・ディレクター）

参加者 10名

共 催 公益財団法人助成財団センター

認定 NPO 法人市民活動センター神戸

3. 組織

(1) 公益認定の申請と取得

前期（2013年6月）に兵庫県公益認定等委員会に認定申請し、6月26日に委員会から県知事に認定相当との答申が出されていたところ、7月8日に兵庫県知事より公益認定され、公益財団法人となった。さらに続けて税額控除の申請も行い、9月3日に県知事より税額控除の証明書が得られた。

(2) 支援者の拡大

本年度は賛助会員制度の整備には着手できず、一般の寄付拡大も不十分であった。

(3) 役員等

役員（理事、監事）、評議員は改選期でなく全員継続いただいた。

(4) 会議

【評議員会】

2013年9月18日 第1回評議員会（兵庫県司法書士会館にて）

出席評議員 12名中8名

- 審議事項 1. 第1期事業報告書承認の件
2. 第1期決算報告書承認の件

【理事会】

2013年8月9日 第2回理事会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル5階会議室にて）

出席理事 10名中7名

- 審議事項 1. 第1期事業報告書承認の件
2. 第1期決算報告書承認の件
3. 旧ジョネス邸を次代に引き継ぐ会からの協力依頼への対応について
4. 評議員会の開催の件

2013年9月11日 みなし理事会

- 審議事項 1. 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定の件

2014年1月21日 第3回理事会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル5階会議室にて）

出席理事 10名中8名

- 審議事項 1. 財団内部の基金設置について

2014年4月15日 第4回理事会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル2階会議室にて）

出席理事 10名中10名

- 審議事項 1. テーマ型基金設置または重点テーマについて
2. 一般社団法人全国コミュニティ財団への加盟について

2014年6月24日 第5回理事会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル2階会議室にて）
出席理事 10名中9名
審議事項 1. 2013年度事業報告案、予算案承認の件

【三役会】

2013年7月12日 第1回三役会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル5階会議室にて）
2013年10月2日 第2回三役会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル3階会議室にて）
2013年10月28日 第3回三役会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル2階会議室にて）
2014年3月11日 第4回三役会（ひょうごコミュニティ財団 秋毎ビル2階会議室にて）

4. 決算報告

< 4-1 > 一般財団法人ひょうごコミュニティ財団第2期（通算第2期） （2013/7/1～7/7）

- （1）正味財産増減計算書
- （2）貸借対照表
- （3）財産目録
- （4）監査報告

< 4-2 > 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団第1期（通算第3期） （2013/7/8～2014/6/30）

- （1）正味財産増減計算書
- （2）貸借対照表
- （3）財産目録
- （4）監査報告

当財団の2013年度は、一般財団法人としての期間（2013年7月1日～7月7日）と公益財団法人としての期間（2013年7月8日～2014年6月30日）に分かれるため、決算もそれぞれに区分して行った。前半が通算第2期、後半が通算第3期である。